

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



会話補助装置を使って会話中

目次

- もちつき大会報告 2
- 高輪区民センター出店報告、
実習所報告 3
- 虫めがね 4
- 夕会便り 5
- 学習会報告、寄付のお礼 . . 6
- 小野塚さん連載 7
- スケジュール、編集後記 . . 8

2009年
3
月号



寒い寒いと思っていていても、春はもうすぐそこまでやってきています。皆さん、元気で春を迎えましょう。



太田 稔

高浜荘 餅つき大会 に参加しました！

去る一月二十五日（日）に高浜荘で毎年恒例の餅つき大会が行われました。

この建物の二階のエレベーターホールに餅つきの道具（臼・杵など）が二つずつ置かれていて高浜荘の住民が餅を力強くついていた様です。風の子会からは障害者十五名、ボランティア六名、職員六名、計二十七名が参加して順番に餅をつきました。私は職員の丸岡さんに右腕を持ってもらい、杵を持ち上げ「ヨイショ！ヨイショ！」と声を出してつきました。丸岡さん！有難う！試食は三階の会議室で、住民の人々は美味しそうに黙々と食べていました。私達はその隣の三〇二号室（普段、

風の子会で活動している部屋）で食べました。餅はお雑煮、きな粉、あんこ、海苔の四種類でした。私はこの四種類を食べてしまい、お雑煮の中に一個か二個か確認しないで食べ、海苔餅は二個、きな粉とあんこは一個ずつ全部で五、六個も食べてしまい、少し食べ過ぎでしまいました。やっぱりつきたての餅は柔らかくてとても美味しかったですね！午後からは障害者とボランティアの交流会が行われボランティアの自己紹介や障害者の趣味などを語り合いました。



幸 高史



ボランティアさんの感想

もちつき大会に参加できて、今年一年が縁起の良い年に成りそうな気がします。けど、おみくじは凶でした。車椅子の介助が慣れていなかったため、力が入りました。自分がお手伝いするよりは、周りに支えられた一日でした。数人のメンバー



と一緒に餅つきをさせて頂いて、メンバーの楽しそうな笑顔を見られて良かったです。

小林 和彦



楽しかったです。食事・移動介助等が初めてだったので、どうやれば上手くできるか分からなかったです。実際やるにあたり緊張しました。介助は結構難しかったです。介助した小野田さんが全部食べて下さったので、嬉しかったです。

田島 美香

餅つきは昨年高齢者のセンターで経験した時は活気が無かったが、ここのもちつき大会は活気があって楽しかったです。試食会はつきたてだからとても美味しく、『〇〇の切り餅』より美味しかったです。意見として、もっと手際よく蒸して欲しかったです。

能代 かおる

凄く楽しかったです。餅つきは臼も杵も見るのが初めてで、ついている所も初めて見られました。つき立てのお餅は美味しかったです。食事介助は初めてだったので、介助にあたって太田稔さんが全部食べてくれて良かったです。

須田 広子





高輪センター「みんなとほっとコンサート」に出店しました！

風の子で作っている商品を売りに行きました。お茶とかハガキが結構売れました。最初これらは売れないのではと話していたのですが。

マリンバの演奏も楽しめました。マリンバの演奏に合わせて、観客が手を叩くという体験コーナーがありました。

朝は雨が降っていたのですが着く頃には止んできて、帰る頃には完全に晴れました。

とても楽しい一日でした。

青木 和代

ありがとうございました



工房実習所報告

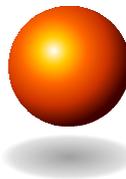
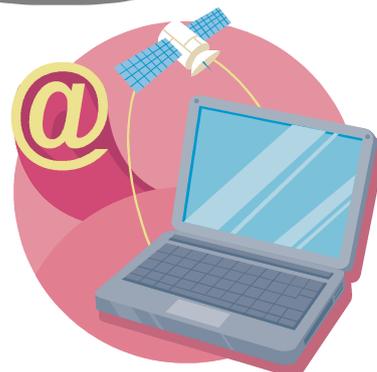
もちつき大会をしました。それから、二月十五日に消防訓練がありました。和紙作りを頑張っています。メモ帳の注文が沢山来たのでびっくりしています。インターネットに商品を出すかどうかをみんなで話し合っています。今度、新しい内職が来るようなので、楽しみです。

福島 基予子

企画実習所報告

早稲田大学の学生さんが障害者の在宅就労についての調査で取材にきました。また今年もきょうされんの請願署名・募金活動の支度をやっています。たぐいまれ制作中。よろしくお願ひします。新しいメンバーが企画に入りました。小田さんという男の人です。

松本 恵司





僕がドラえもんの道具で欲しいものは、もしもボックスです。もしもボックスは電話ボックスの形をしていて、「もしもこんな世界になったら」と電話で話すと本当に「その通りの世界になる」アイテムです。最強の秘密道具かもしれない。「もしも世界中から、核兵器がなくなったら」とか「もしも世界中から、全ての病気がなくなったら」とかが実現することになります。

しかし、もしもボックスはドラえもんの話の中では、あまり使われません。もしもボックスは「ものすごく強力な道具」ですから、使用制限がかかっているのでしょう。残念ですが、世界がひっくり返るので、めったに使えないのです。いろんなことを考えさせてくれるドラえもんの世界は、とても楽しくて奥が深いと思います。

2112年9月3日が、ドラえもんの誕生日です。

103年後のことを私達を知ることはできませんが、地球温暖化が進み、人間の力で解決できなかつたら、ドラえもんが、めったに使えない、強力な「もしもボックス」を使って、地球を助けてくれるかもしれません。

佐久間 庸



虫めがね

テーマ「ドラえもんの欲しい道具」

メンバーにとっては少し難しいお題だったようです。さあ、どんな話が聞けるでしょうか？



今月号は、私三木に虫めがねの担当が回ってきました。そのテーマはというのが『ドラえもんの欲しい道具』というのですが、やはり道具といえばこれしかないでしょう、そうですあれです『どこでもドア！』数ある道具の中でシンプルかつ誰でも知っているのがタケコプターとどこでもドア、ではないでしょうか。私はどちらを選ぶかと聞かれたら間髪入れずに『どこでもドア！』と答えます。

旅行好きな自分としては、時間を有意義に使ってその土地の観光を楽しみたいからです。理由は簡単です。交通費が高くて買えないし駅の弁当も味気なくて好きになれないから。だったらその土地の名産物を食べるのが一番です。ですからどこでもドアなら好きな時に好きな場所に行って好きな時に帰って来られるので選びました。（駅弁好きな人は、多々いると思います。また旅は駅弁からと言う人もいますが・・・）一方のタケコプターは？ということ・・・。上空は、寒いし飛距離がないからです。（しかも身体を保護するものがないから危険過ぎ）



三木 直人



今回のテーマはドラえもんのポケットの中にある、自分が欲しい道具をと、自分が書いたが、実際の話、私はドラえもんをTVも映画も見たいのでタケコプターぐらいしか知りませんでした。うちの旦那も同様で何を書いたら良いのか解らず、職員に説明を求めていましたが、私はその数の多さには正直驚きました。子供の時から「自然」に憧れを持っていた私は、好きな季節のダイヤルに合わせると、半径三メートル以内がその季節になる「オールシーズンパッジ」が欲しいです。日本の四季折々の大自然の一部になって、愛する人達に見る喜びを感じる喜びをと思っています。

太田 圭子



今回のテーマはドラえもんのポケットの中にある、自分が欲しい道具をと、自分が書いたが、実際の話、私はドラえもんをTVも映画も見たいのでタケコプターぐらいしか知りませんでした。うちの旦那も同様で何を書いたら良いのか解らず、職員に説明を求めていましたが、私はその数の多さには正直驚きました。子供の時から「自然」に憧れを持っていた私は、好きな季節のダイヤルに合わせると、半径三メートル以内がその季節になる「オールシーズンパッジ」が欲しいです。日本の四季折々の大自然の一部になって、愛する人達に見る喜びを感じる喜びをと思っています。





虫めがね ～つづき～



朝、ドラえもんのテーマ曲の目覚ましで目覚める。確か、途中で「ぼく、ドラえもんです。」と叫んでいるみたい。そして、ポーツとしたまま、トイレへ行く。そのとき、一番初めに目に入るのは、これまた、つるしてある「ドラえもん」のキーホルダー、それを見つめて一日がスタートする。こんなにも「ドラえもん」の存在が、身近なのに、私はアニメを見たことがない。「サザエさん」は、毎週見ているのだけれど。やはり、年代がそうさせるのか、オバサンには、まったくわからない。わからないのに、キャラクターグッズがたくさん家に並んでいる。不思議な気がしないでもないが、それだけ「ドラえもん」は、人気があるのだろう。私が、「ドラえもんのポケット」に託すことは、世界中から障害者をなくすこと。障害を持つ人々がいない世の中であってほしい。（障害があつてよかったという人は別だが。）精神的、肉体的、ありとあらゆる障害をなくしてほしい。そうすれば戦争もなくなると思う。思いやる心もお互いに今より強くなると思うから。



吉田 久代

僕はドラえもんをはじめてテレビで見たのはもう遙か昔、小学校の頃でした。だけでも、僕はあまり当時から、マンガよりも、ドラマや歌番組の方ばかり見ていたので、それほど漫画好きという訳ではなく、勿論「ドラえもん」もあまり好きということではありませんでした。勿論テレビでもあまり見ていたほうではありませんでした。だけれども、ドラえもんの四次元ポケットを見ていくうちに「あいこれいいな」。普段から生身の人間の世界にもあったらいいだろな」と思ったものは二つありました。それは、どこでもドアやスマートフォンです。まあ、使いみち、用途については、読者のみなさんの想像にお任せします。



天海 隆一

夕会便り

担当・太田 圭子

1月31日 インターネット販売について

きょうされんから風の子の作業所で作っている製品を、ネットで売ってみたいかとの話がきたとかで夕会にかけられました。今日は工房の人達の大半がバザーの販売で出掛けて留守だったので、この事はまたゆっくりみんなで話し合うことになりました。



2月7日 続インターネット販売について

先週行われたインターネット販売についての詳しい説明がなされ、決を取った結果賛成者が多かったので、風の子会もネット販売に参入する方向でいく事になりました。

学習会報告

1月21日（水）・・・前半は岡本さん出題の算数でした。難易度がとても高く、みんなで頭を抱えました。後半は古典落語のビデオを観て楽しみました。

1月28日（水）・・・今日は鬼のお面をみんなで作り、新聞で作った豆で鬼退治をしました。日頃のストレス？を鬼に思いっきりぶつけて楽しみました。

2月4日（水）・・・健康診断に行く人が多いため、いつもより少ない学習会でした。残りのメンバーは心理テストを行いました。



お詫び

今月の連載『シベリヤ秘話』『母の思い出』は作者の都合により休載させていただきます。鋭意執筆中ですので、つづきをご期待下さい。

すまん…
いい案が
浮かばん…



©NO-BIG-DEAL.BIZ

寄付のお礼

寄付を下さった方
井出義文様

ありがとうございました

一月九日～二月七日

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第15話 花見（というタイトルでいいのだろうかと思いつつ）

3年目の初日前夜も、僕はいつも通りに徹マンに明け暮れていた。朝方に終了となり、ベッドに入ろうかとしている時に同じ学年で広島出身のCが部屋に入ってくるなりこう言った「今からどっかドライブ行かねえか?」。その時部屋にいたのはこの年同じ部屋に住む事になった後輩のHと同じ学年の親友のI、それに前年一緒の部屋だった同じ学年のUだった。この頃はみんな20代前半で体力があり余っていて、徹夜明けでも何か楽しいイベントの予感があればみんなすぐに乗ってしまうのだ。「いいねえ。じゃあどこ行くか?」「時期的には桜がちょうどいいんじゃないか?」「桜かあ。どのへんだろ?」Iが口を挟む「目黒あたりなんてどうだ?」Iは実家が滋賀ということになっているが、高校までは目黒に住んでいたの土地勘があるのだ。「目黒川沿いの桜はけっこういいぞ」反対するものは誰もいなかった。「よし、じゃあ目黒の花見に決定!」部屋を出て玄関で靴を履き、階段を降りて車に乗り込む。

1800ccのターセルに5人も乗れば車内はぎゅうぎゅう詰めだ。しかも5人中2人は体格ががっしりとしているので圧迫感は更に強まる。「もっとつめろよ」「おまえがつめればいいだろ」「わーい、なんかおしくらまんじゅうみたい」後部座席で騒がしいCとIとUを見やりながら僕は助手席に座り、Hが運転席に乗る「みんなちゃんと乗りましたか? 出発しますよ」。寮を出て南へ少し走ると国道246号線がある。246を東京方面に向かって進めば目黒近辺に辿り着くのだ。時間帯がちょうど通勤ラッシュ時と重なったせいか、246を進むにつれて車の量は徐々に増えていき、やがて全く動かないような渋滞にハマった。「俺らも3年か」渋滞の中Iがぼつりと言った。「去年は授業サボりまくったから、今年はちょっとマジメに学校行かないと」自嘲気味に僕が呟くとHが続いた「僕なんか、去年ほとんどガッコ行かなかったっすよ」「自慢することじゃねえだろ」車内がどっと湧いた。「ま、みんな似たり寄ったりってことだな」そんなやりとりをしながら、ようやく目黒が近づいてきた。

左折右折を繰り返してようやく目黒川に着いた。車を停めて5人で少し川沿いを歩いてみることにする。桜は、五分咲きくらいで見頃にはやや早い感じの咲き加減だったが、ドライブがてらに眺めるには丁度いい頃合だった。「今年はどうな1年生が入ってくるんだろう」Hが桜を見上げながら言った。「ほら、僕は今年新歓実行委員じゃないですか。ちょっと気になってるんですよ」Cが応える「どんな後輩が来ても、大切なのは俺らがちゃんと盛り上げられるかってことじゃないか」少し間をあけてからHは「そうですね」と答えた。「まあ、一つだけ言えるのは、お前らの学年よりはマシだろってことだな」冗談まじりに僕が言うと、Hも笑って返した。「それと、カワイイ女子が入ってくるといいな」30分くらいそうして川沿いを歩いた。

花見を終えると、来た道をまた戻る帰途についた。その間の車内も同じような賑やかさだった。寮に着き、部屋に戻って一服していると、少し遅れてHが入ってきてこう言った「今夜の入寮式のあとの飲み会用の酒を買ってこいといわれたんだけど・・・」マルポロを灰皿に押しつけながら「付き合うか?」言うとHはにっこり笑いながら車のエンジンをかけに降りていった。

そうして僕は午後あまり眠ることなく、そのまま入寮式に向かうことになった。今だったらそんな無茶な一日を過ごすことはほとんど不可能に近いが、当時はこれが日常だった。徹夜なんて当たり前だったし、そんな風に遊ぶことが本当に楽しかったのだ。

だから、その夜の入寮式も思い切り騒いだというのは、いうまでもない。

～ 第16話につづく ～



脚の調子がよいと体全体もスムーズに動き、一日のうちにしなげればならないことを比較的楽にこなせる。そういう時期が一年に数回ある。けれどそういうときはたいてい「こんなにあっさり物事を済ますことができて、本当にいいのだからか？」と不安になってしまふ。生来の貧乏性故か心配性故か、うまく事が進めば進むほどかえって不安になるのだ。体が軽く動くときくらい、やりたいことをあれこれやりたいてい、とやってみればいいのに、そういう時は何かをしようという意欲が湧かない。逆に体の緊張が激しい時期に限って「あれがしたい！これがしたい！」と強く思ってしまう。



小野塚 航

僕は、子供の頃からデイズニーが好きで、「東京デイズニーリゾート（ランド・シー）」に遊びにちよくちよく行きます。その中でも、ミッキーマウスやミニーマウスのようなキャラクターグッズを集めるのが好きで、とくにデイズニーストアで買い物をするのが大好きです。もちろん、パレードを見るのも絶叫系の乗り物に乗るのも大好き

きです。毎日行きたいぐらい好きです。また本家本元であるアメリカのデイズニーワールドやランドにも行きたいと思っけています。まだ行ったことが無く、なかなか実現できません。行ってみたいなあ。タナツキ



先日、南アフリカW杯アジア最終予選日本対オーストラリアをテレビで見ました。結果的に0-0の引き分けでとても残念だったが、首位オーストラリアに勝ち点一を取った以上にこれまでにきたのが、何よりの収穫であったと言えらると思う。

岡田監督の目指すパスサッカーもだいぶ浸透していると感じた。試合内容では、またしても日本の決定力不足が出てしまっけて、またしんどいかなかったが、これから先も強豪国と対戦し、どんどんレベルアップしていただきたい。明らかに日本代表は進化しているからだから。

佐久間 庸

スケジュール

2月15日（日）
消防訓練

2月18日（水）
運営委員会



ひとりぼっちの障害者をなくそう
特定非営利活動法人・風の子会
 ~定価40円~

編集者
 天海隆
 太田恵子
 佐久間 隆
 田中彦
 三村 隆
 三木直人
 幸木 史郎
 和栗 史郎

太田恵子
 小野塚 航
 松本 隆
 右田 史郎
 吉田 史郎
 久代 史郎

編集人：【高浜生活実習所】
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区砧6-26-21

